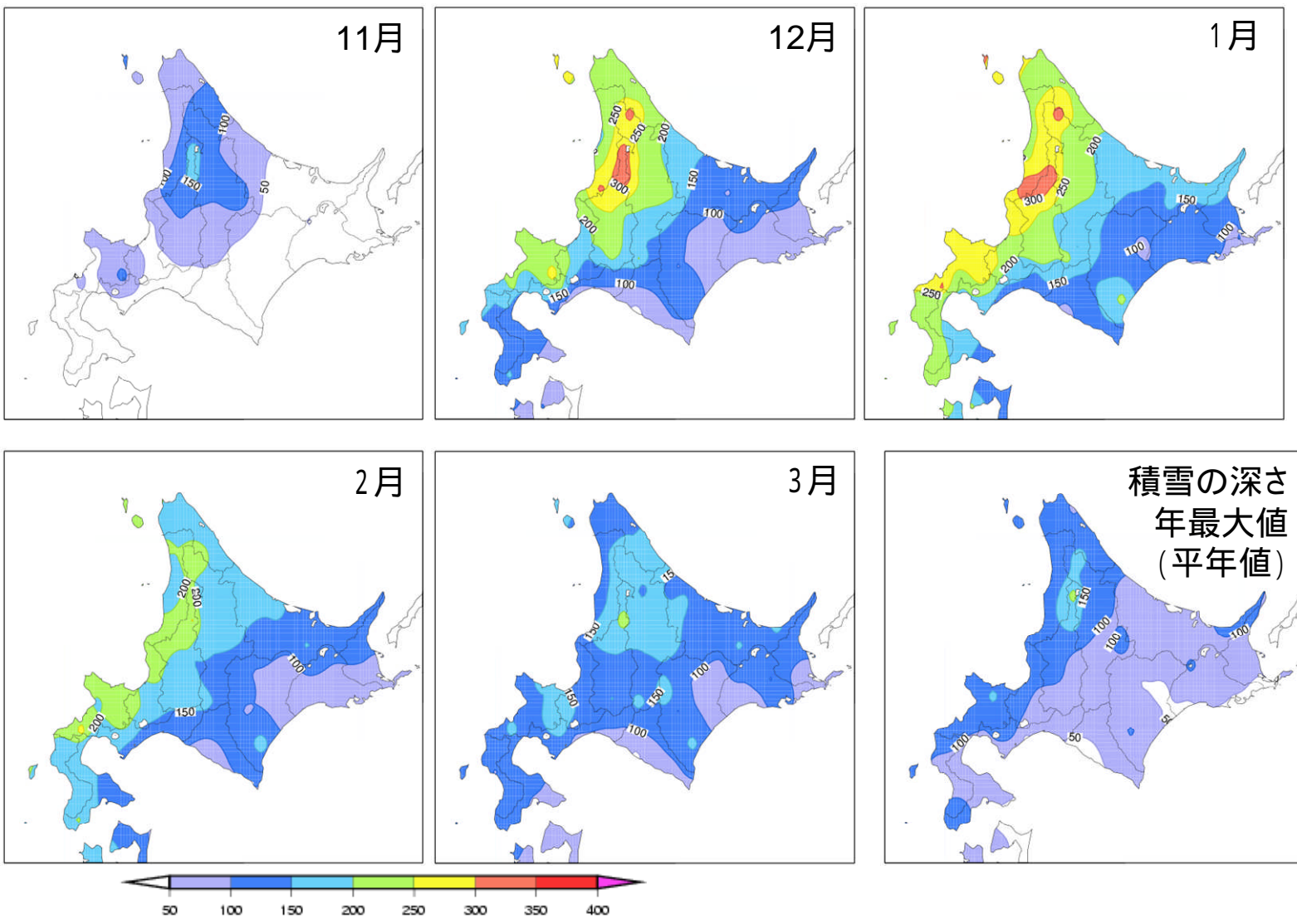


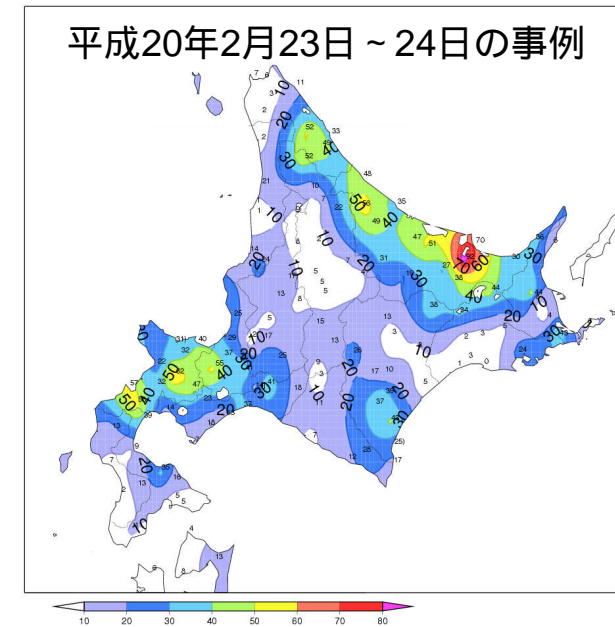
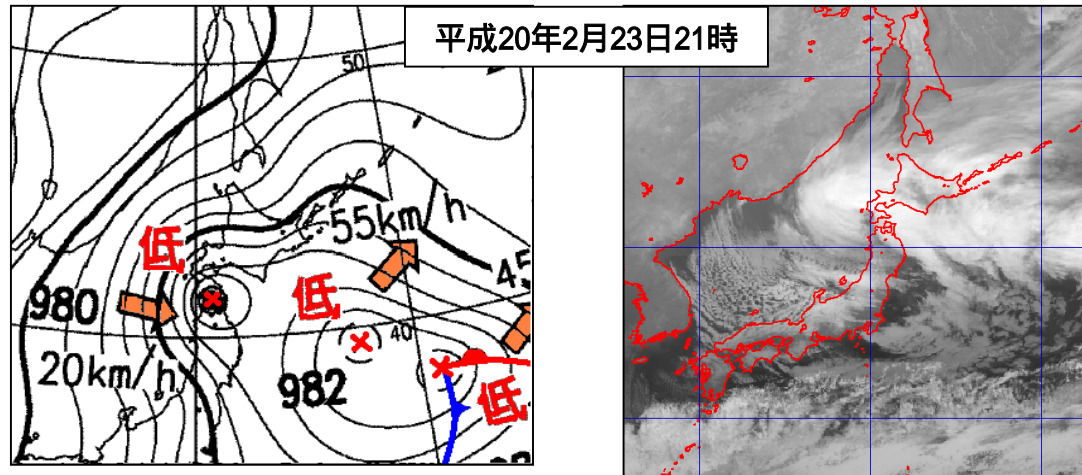
1. 12月～1月は雪が多くなる

月別降雪量(平年値)



2. 北海道地方の大雪について

(1) 発達した低気圧による大雪



特徴と主に注意を要すること

雪雲は雨雲より背が低い 地形の影響が大きい 局地性が強い
低気圧の

東側は、南風で湿った雪 温度により着雪 湿り雪による着雪、倒木、除雪の妨げ

西側は、北風で乾いた雪 吹雪 吹雪による見通しの低下、吹きだまり

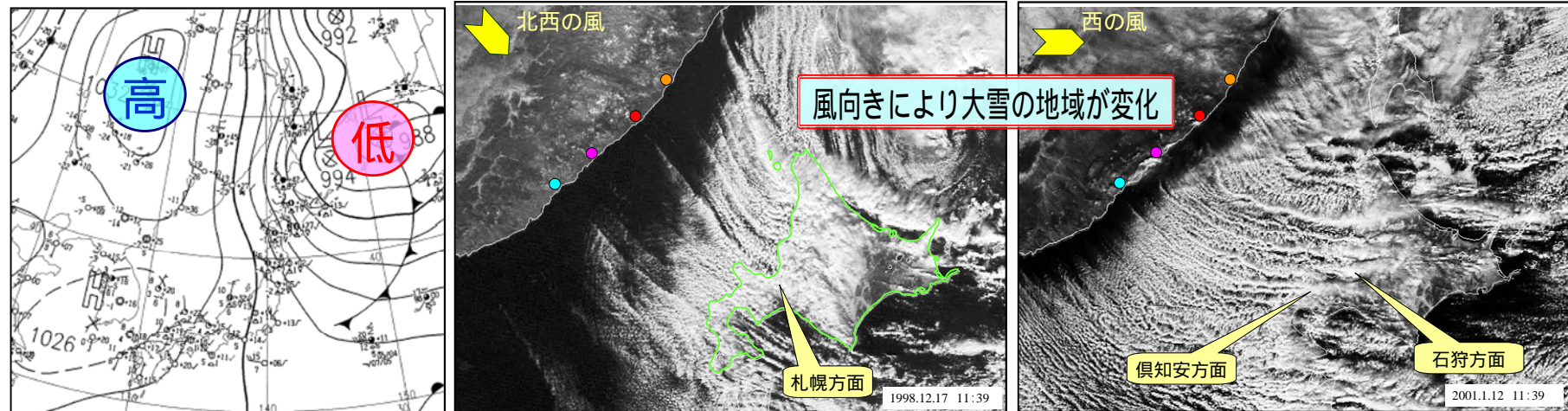
発達した低気圧の周辺 強風・暴風 風が急激に強まる

低気圧の移動 風向きや気温の急激な変化

質の異なった雪が積もることによる傾斜地のなだれ

2. 北海道地方の大雪について

(2) 冬型の気圧配置による大雪



特徴と主に注意を要すること

上層の気温が低い、海上を通る時間が長い、海水温が高い 雪雲は発達
地形の影響を大きく受ける 局地性が強い

条件が変わらないと同じ場所で降り続く 局地的大雪

風向・風速によって雪雲の入る地域が違う

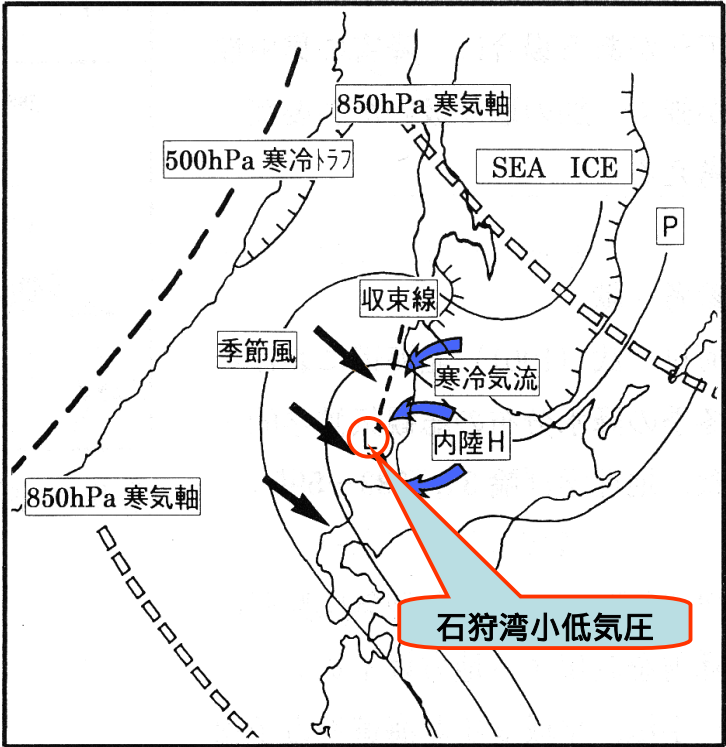
何らかの条件で風が集まると短い時間に大雪 ホワイトアウト

風が弱いと海岸付近・強いと内陸で降りやすい

冬の前半は西風タイプが多く、冬の後半は北よりの風のタイプが多い

2. 北海道地方の大雪について

(3) 雪雲の集中による大雪 (石狩湾小低気圧による大雪)

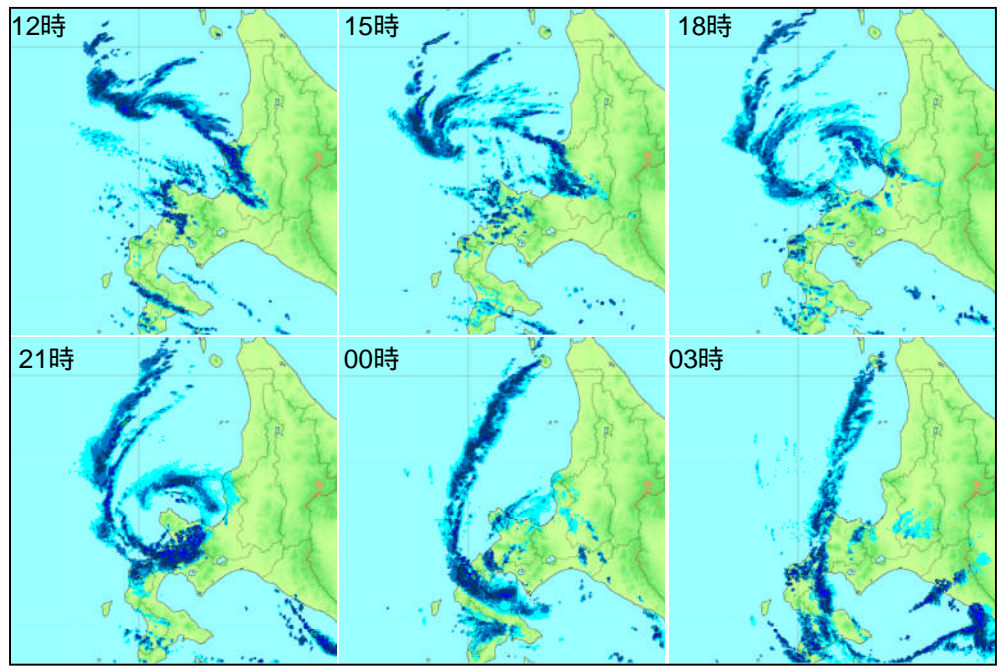


雪雲の局地的集中の概念図

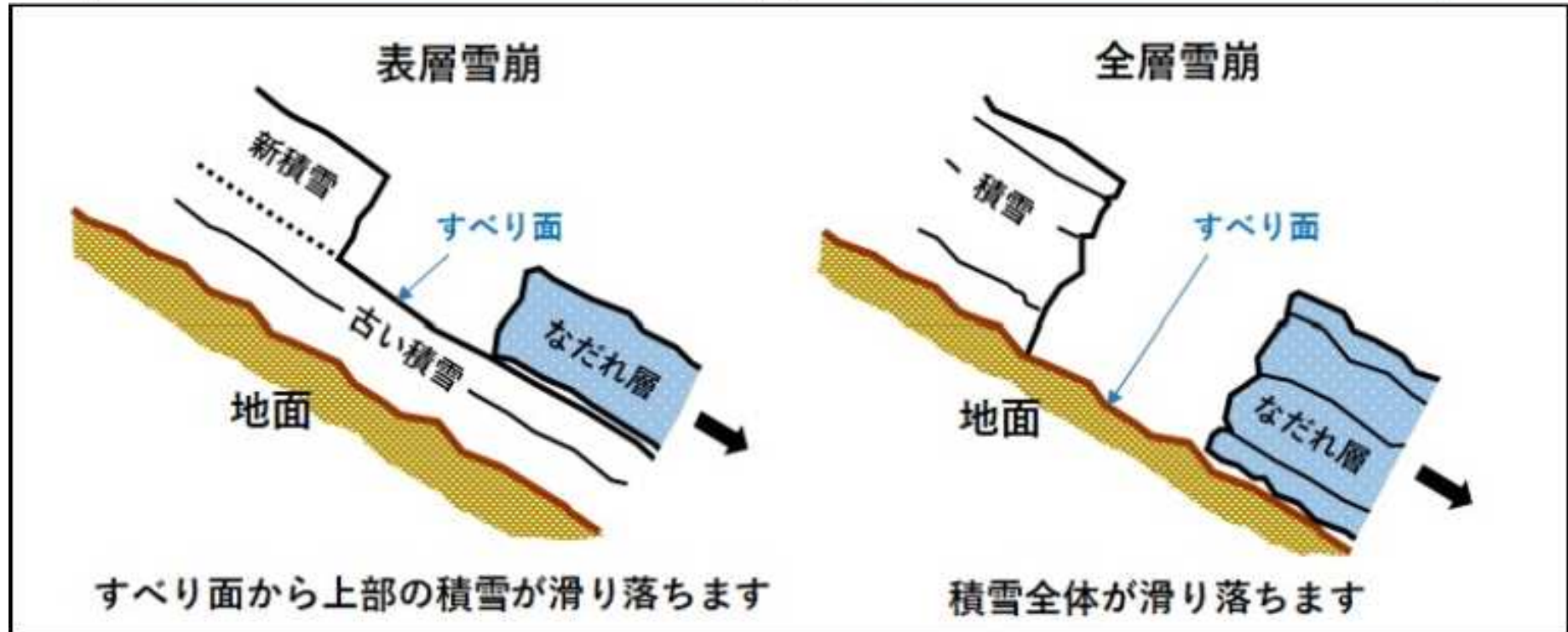
冬型の気圧配置が緩み内陸に高気圧が形成される
 上空に強い寒気を伴った気圧の谷が接近
 北海道の西海上で大陸からの季節風と北海道内陸部からの風がぶつかり、収束線や小さな低気圧が形成される
 収束線上又は小低気圧周辺にできた活発な雪雲が陸上へ進入したところで大雪となる

・道央圏の交通、航空機への重大な影響。
 道路交通網の遮断。
 JRの運休(都市線、遠距離線とも)。
 航空機(千歳・丘珠)の欠航。

石狩湾小低気圧による雪雲の例
 (2005年12月27日00時～28日03時)



3. なだれについて (なだれの種類)



先に積もった雪の上に新しくたくさん雪が積もったとき、その表面の新しい雪が崩れ落ちるもの

古い雪も新しい雪も一緒に、地面を削りながら崩れ落ちるもの